



2024年2月13日

各位

会社名 モ イ 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 赤松 洋介
(コード番号：5031 東証グロース)
問合せ先 取締役経営管理本部長 入山 高光
(TEL：03-3527-1471)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年3月13日に発表いたしました2024年1月期（2023年2月1日～2024年1月31日）の業績予想につきまして、下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

1. 2024年1月期通期業績予想数値の修正（2023年2月1日～2024年1月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 6,610	百万円 74	百万円 74	百万円 —	円 銭 —
今回修正予想（B）	6,433	141	155	—	—
増減額（B－A）	△177	66	80	—	—
増減率（％）	△2.7	89.7	108.1	—	—
（ご参考）前期実績 （2023年1月期）	6,607	104	105	53	3.97

2. 修正の理由

（売上高）

売上高につきましては、ライブ配信サービス市場の競争環境変化の影響を受けて、当社主要KPIの一つである月間平均ポイントPU（Paid Userの略、課金ユーザー数）が75千（当初計画比5.0%減）と、当初計画と比較して低調に推移したことにより、当社売上高の91%以上を占めるポイント販売売上が5,915百万円（当初計画比3.6%減）と当初計画を下回る見込みです。

以上により、売上高は6,433百万円（当初計画比2.7%減）と当初計画を下回る見込みです。

（営業利益、経常利益）

売上高が当初計画から減少する見込みであることに加えて、当社サービス「ツイキャス」を利用いただいている配信者の満足度向上を目指して、配信者への報酬である売上原価を低減させない方針を推進した結果、売上原価率が当初計画を上回る見込みとなり、売上総利益は3,212百万円（当初計画比3.6%減）と当初計画を下回る見込みです。

販売費及び一般管理費においては、サービス提供にかかるインフラ費用は、BCP 対応に伴うシステム関連費用及び通信費の増加等により 601 百万円（当初計画比 8.5%増）と、当初計画を上回る見込みです。一方で、手数料費用は売上高の減少と当社サービス利用者の決済手段の変化が進んだこと等により 1,506 百万円（当初計画比 6.7%減）、マーケティング費用は通期で費用対効果を慎重に検討した上で施策を実施したことにより 151 百万円（当初計画比 31.5%減）、体制強化費用は採用実績が計画を下回ったこと等により 595 百万円（当初計画比 4.3%減）と、それぞれの当初計画を下回る見込みです。結果、販売費及び一般管理費は 3,070 百万円（当初計画比 5.8%減）と当初計画を下回る見込みです。

以上により、営業利益は 141 百万円（当初計画比 89.7%増）と当初計画を上回る見込みです。

営業外収益においては、振込手数料等の経済条件を改善したことによる手数料報酬が増加したことにより、経常利益は 155 百万円（当初計画比 108.1%増）と当初計画を上回る見込みです。

（当期純利益、1 株当たり当期純利益）

当期純利益及び 1 株当たり当期純利益につきましては、今後の見通しを踏まえた繰延税金資産の回収可能性の検討に時間を要し、現時点で予想数値の算定が困難であることから、引き続き未定としております。公表可能となった時点で速やかに公表いたします。

【業績予想に関するご留意事項】

本資料に記載されている当社の 2024 年 1 月期通期業績予想等の将来に関する記述は、本資料の日付時点において当社が入手可能な情報による判断及び合理的であると判断する一定の仮定を前提としており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

以 上